

世界文化遺産・無形文化遺産部会（第1回） 議事概要

日時：平成26年4月25日（金）13：00～13：30

場所：旧文部省庁舎2階 第1会議室

審議の概要

1. 部会の開催に当たり、山下文化財部長より以下のような挨拶があった。

世界文化遺産をめぐる状況については、本年1月に、政府として「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」をユネスコに推薦をしたところである。

また、富岡製糸場と絹産業遺産群が、今年6月の第38回世界遺産委員会において審議をされる予定であり、これまでの関係者の方々の努力が報われる結果になることを心から期待をしている。

また、一方で、イコモスによる審査は年々厳しさを増してきており、各国の推薦枠が原則1年に1件となっているため、ユネスコやイコモスの審査に耐え得る資産の候補を選定するということが重要である。

ユネスコ無形文化遺産については、昨年に「和食」が掲載され、全部で22件となった。また、今年の3月末に、グルーピング化提案という形で、同じ分野の文化財をグルーピング化し、「山・鉾・屋台行事」を提案したところである。

今後の提案に際しては、各年各国1件となっている審査件数が、更に厳しくなることが予想されており、ユネスコの審査に十分留意した検討が必要である。

2. 部会長及び部会長の職務代理者の選任が行われ、部会長に西村委員、部会長の職務代理者に神崎委員が選任された。続いて、部会設置要綱、部会運営規則、各特別委員会の設置、各特別委員の指名及び会議の公開についての決定が行われた。

3. 世界遺産、無形文化遺産の今後の主な予定について説明が行われ、その後質疑が行われた。（○：委員 ●：文化庁）

○ イコモスの勧告は、必ずしも5月2日ではないということか。

- 5月2日までにユネスコのホームページ上でイコモスの勧告が公表されるということになっている。それに先立って推薦案件を提出している国に対して、事前にレターで通知が送られるが、それがいつ頃送られてくるのかは、分からない状況である。
- 富岡に関して、イコモス等からの質問事項があったのか。
- 富岡は、昨年9月に現地調査が行われ、それとほぼ同時期に追加の情報照会があった。その後、イコモスから追加の情報照会があったことはない。
本年2月の大雪で若干雪害が生じた件については、OUVに影響がないことをイコモスに対して報告している。

4. 次回の会議は夏頃を開催するとの説明があり、終了した。